



# トヨタ FJクルーザー

## 専用シートカバー取付説明書

この度は弊社製品をお買い上げ頂きまして、誠に有難うございます。

- \* 説明書内にシートカバーの取付・取り扱い・返品等に関する注意事項等が記載されていますので、装着前に必ずお読み下さい。
- \* 本書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため製品とデザインは異なります。

## シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付けられています。仮合わせの時点で製品に何らかの支障があった場合は、お買上げ頂いた販売店、または当社までご連絡ください。事前に連絡がなく装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。またお客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきますので予めご了承ください。
- 本製品は梱包時にシワが入る場合があります。ある程度は正常に取付けをおこなうことで生地が伸びシワは解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定穴やバックテーブル等）を損なわないように製造されていますので、背もたれや座面に穴加工されているタイプのシートカバーがあります。
- 万が一ご注文された商品と違う、不良品、配送中の破損等、ございましたらご連絡ください。速やかに商品を交換もしくは修理対応させていただきます。  
※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間を頂く事があります。
- 箱の多少の破損、商品の細かい傷、シワ等は不具合対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。

## 警告 サイドエアバッグについて

- 本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ開閉部分に、SRSサイドエアバッグ対応の縫製系を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）その部分は他の部位に比べて縫製系が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかからないようにご注意ください。また、シートカバーを正しく取付けないと衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず重大な傷害に及び、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。  
※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準がないため自社独自の対応規格となります。

## 本製品に関する注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや、本革側に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てられると、表面のツヤ変化・変形・変色の原因となります。また、高温、多湿のところ放置されると硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがきつく残る場合があります。装着されてから約1～2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管されてから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用していますので、燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず各自治体の処理方法に従ってください。

## シートカバー装着時の注意事項

- 当社のシートカバーはフィッティングを重視して製造しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張り過ぎると抜けたり、切れる恐れがありますのでご注意ください。
- シートカバー(スエードタイプ・本革パンチングタイプ・ECTクラッツィオ・アルカンターラセレクト)の背もたれ上部に加工されているヘッドレストの穴は生地が伸びにくいいため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
- 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着して頂くと、作業がスムーズに進みますので、当社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らな広いスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態(扉を開放されたまま)にされると、バッテリーがあがったり弱まる原因となります。
- フィッティング性を重視した当社のシートカバーを取付けた後、元に戻した際(シートカバーを取り外した際)にシート自体にシワが残る場合があります。予めご了承ください。
- 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をお掛けしますが当社までお問い合わせください。
- 当社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように製造していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。予めご了承ください。
- 取り付け時(シート本体のパーツを取り外す場合等)及び、使用時におきた車輛への損傷、車輛の不具合、人体への怪我(シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります)について、当社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、取付けを行ってください。  
またいかなる場合でも商品代金、送料を保証の上限とし、それ以外の保証はできませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換取付け、取付け取り外し等の工賃、取付け等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましても一切の責任を負わないものとします。

「快適カーライフ空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

**TEL 072-330-8000**

# シートカバー取付補助ビニール使用方法

背もたれ部分の取り付けの際、シート本体とシートカバーの摩擦によりスムーズに入らない場合があります。その場合、付属のビニールを下記の手順で使用していただくと取り付けが容易になります。

※ベーシックシリーズには取り付け補助ビニールは付属していません。



①背もたれカバーを取り付ける前に補助ビニールを被せます。補助ビニールは後で取り外すのでカッター等で両サイドに切込みを入れて取り外し易いようにしておきます。



④ヘッドレストの台座部分を穴から取り出します。生地のはりを利用して横からもぐりこますように取り出して下さい。無理に入れると破れる恐れがありますのでご注意下さい。



②背もたれのカバーをシートのラインに合わせながら被せます。肩口部分にたるみがなくなるまでしっかりと入れ込んで下さい。



⑤背もたれの曲線にたるみなくカバーを密着させながらマジックテープ部を背面と座面の間に入れ込みます。  
(車種により取付方法が異なります。)



③シートカバーをしっかり入れ込むことができたなら、ビニールを引っ張り取り外します。



⑥入れ込んだ部分を取り出しマジックテープで固定します。

# コンビニフックについて

一部車種の1列目背面にあるフック部分は穴あけ加工がされておられません。フックがネジで固定されている場合、カバーを加工すれば使用することが可能です。



- ①ネジを外します。ツメで固定されている場合がありますので、取り外しには十分ご注意ください。ツメが破損すると元通りに取り付けられなくなる場合もあります。



- ②背もたれカバーを取り付けます。シート本体とカバーがずれていないかをよく確認した上で、フックの位置に切り込みをいれます。



- ③切り込み部分にフックを取り付けて完成です。

# 1 列目座面

※運転席装着時は、シート位置を一番高くしておくとう作業がしやすくなります



①運転席のシートリフターダイヤルを取り外します。ダイヤルは軸にピンで固定されていますので、②と③を参考に、ピンの端を外側に開くようにして軸から外します。



④背もたれ背面から座面下に固定されている生地をめくり上げます。生地は、座面下にゴムで固定されています。



②ピンを外すと、ダイヤルは手前に真っ直ぐ引き抜く事が出来ます。図は、取り外したダイヤルとピン、ダイヤルが固定されていた軸です。



⑤カバーを半分ほど裏返した状態で、シートのラインに合うように、位置を決めます。



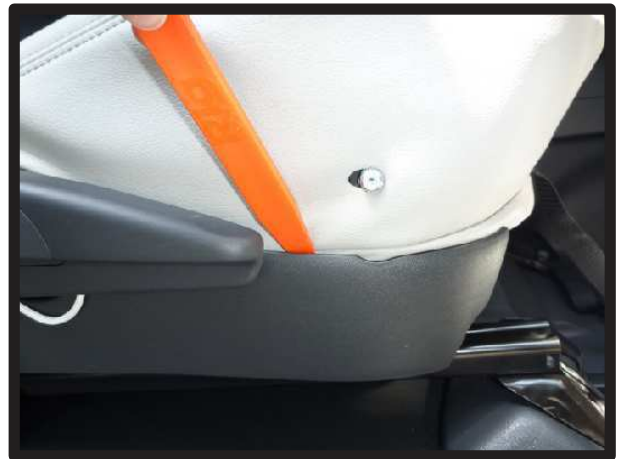
③ピンを無くさないように、ダイヤルに図のように固定し直します。ダイヤルを元に戻す際は、この状態で、ダイヤルをシートに押し込む事で、ピンがロックされます。



⑥合わせたラインがずれないように、カバーをかぶせます。



⑦背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



⑩カバー外側面の生地を、プラスチック部に入れ込みます。  
※内側面は入れ込まず、そのままにしておきます。



⑧シートリフターダイヤルの軸を、カバーの加工穴から取り出します。



⑪カバー外側面のヒモを、リクライニングレバーの隙間に入れ込みます。



⑨ラチェット式シートリフター部（○部）は、カバーに付いているヒモが図のように、下側を通るようにして下さい。

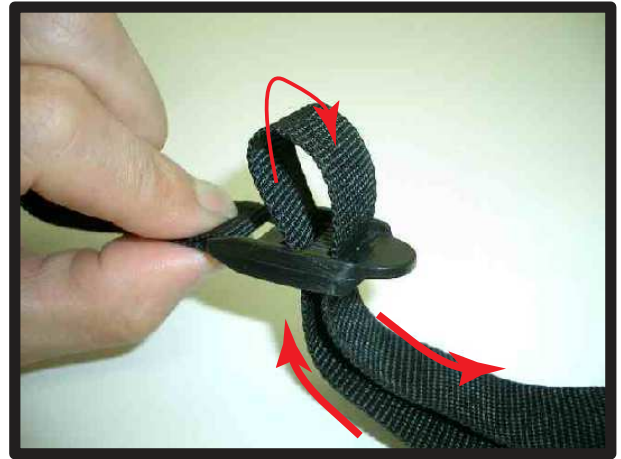


⑫入れ込んだヒモを、シート下側から取り出し、後ろ側へ引き出します。カバー内側面のヒモは、シート側面を沿わせ、後ろ側へ引き出します。

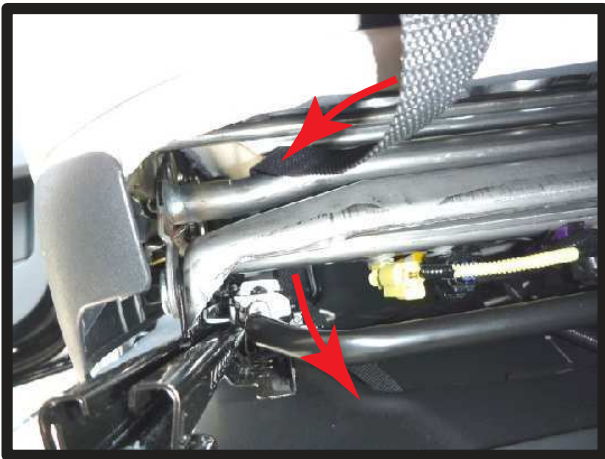
# 1 列目座面続き



⑬ 2 ページ⑦で入れ込んだ生地を、後ろ側から引き出します。この際、サイドエアバッグの配線をかかわすようにして下さい。



⑭ ベルトの固定方法は、最初に図のように真中の穴に通し、次に手前の穴に通します。この状態で、前後のベルトを引く事で固定されます。



⑮ カバー前側に付いているベルトは、図のように、シート下の金属部の上側を通すようにします。



⑯ 2 ページ⑫で引き出したヒモの一方で作輪を作り、もう一方を輪に通し、引き絞り結び留めます。強く引っ張るとヒモが切れる恐れがありますので注意して下さい。



⑰ シート下に通したベルトを後ろ側から引き出します。ベルトは、⑬で引き出した生地が付いているバックルを使い固定します。



⑱ カバーのラインを整え、1 列目運転席側座面の完成です。助手席側も一部形状が異なりますが同様に取り付けます。



# 1 列目背もたれ



①はじめに、アームレストを取り外します。  
アームレスト側面のキャップを外すと、中にボルトがあります。



②ボルトをラチェット等を使用し、外します。



③ボルトを外すと、アームレストが取り外せます。



④次に、背面にあるアシストグリップを取り外します。  
先の細いものを使用し、グリップ付け根のプラスチック部を外すと、中にネジがあります。

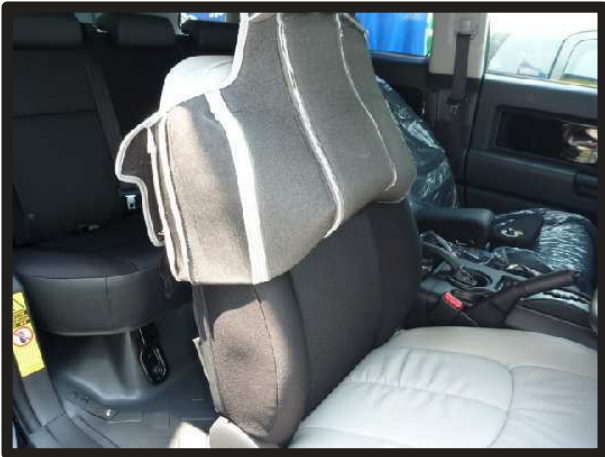


⑤ネジを六角レンチを使用し、外します。



⑥ネジを外すと、アシストグリップが取り外せます。

# 1 列目背もたれ続き



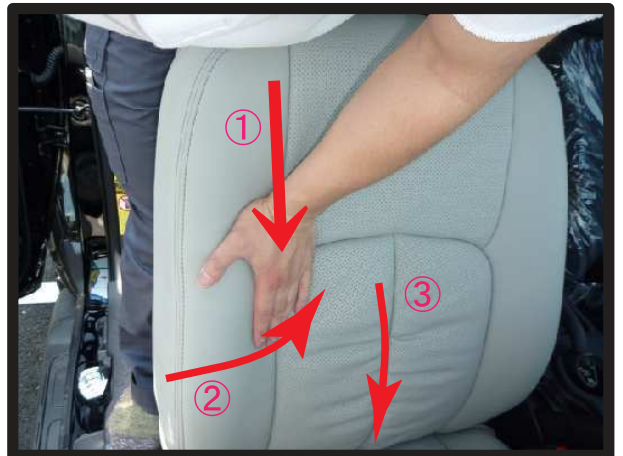
⑦カバーを半分ほど裏返した状態で、背もたれにかぶせます。肩口までしっかり入れ込むようにして下さい。



⑩入れ込んだ生地を後ろ側から引き出します。この際、サイドエアバッグの配線は生地の切れ込み部分でかわすようにして下さい。



⑧1ページ④でめくり上げた生地を、カバーの中に入れ込みます。



⑪図の①～③の順にカバーを背もたれに馴染ませるようにしながら、シワを無くします。



⑨背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



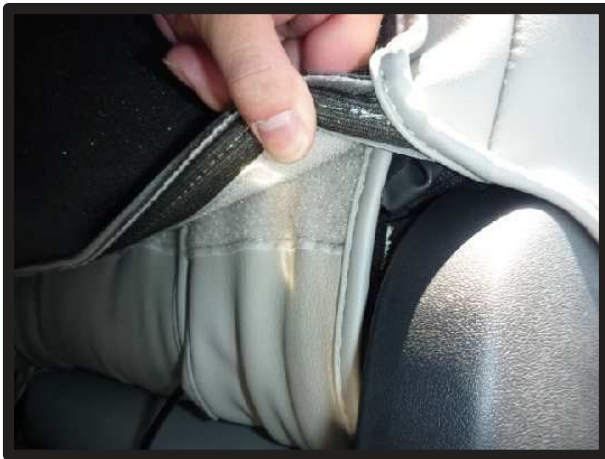
⑫ヘッドレストの台座部分をカバーの加工穴から取り出します。生地の伸びを利用して横から潜り込ませるように取り出します。



⑬ヘッドレストの台座部分は、このようになります。



⑭S字フックは、座面下の金属部分に引っ掛け固定します。



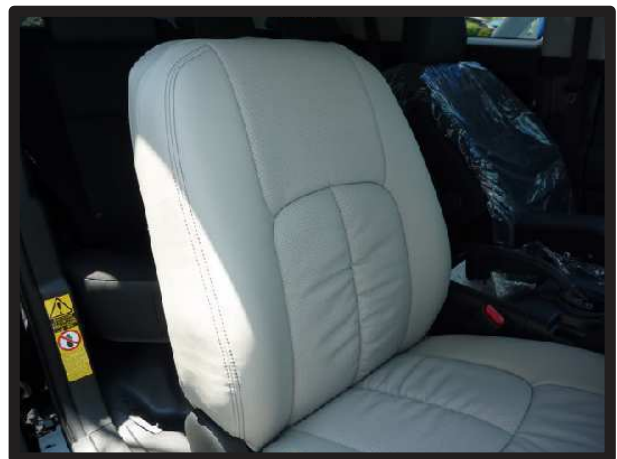
⑮5ページ⑩で引き出した生地と、背もたれ背面の生地をマジックテープで固定します。



⑯背もたれ背面は、このようになります。



⑰背もたれ背面の生地に付いているゴムに、付属のS字フックを取り付けます。



⑱4ページで外したアシストグリップを外した逆の手順で元に戻し、カバーのラインを整え、1列目運転席側背もたれの完成です。助手席側も同様に取り付けます。

## 2列目座面



①シートのラインに合わせて、前側からカバーをかぶせます。



④カバー両側面のヒモを、1列目と同様に固定します。  
余ったヒモは、一つに束ねる等して下さい。



②シートを引き起こす為のストラップを、カバーの加工穴から取り出します。



⑤カバー前後のベルトを、1列目と同様に固定します。



③シートを引き起こし、カバーを全体にかぶせます。



⑥カバーのラインを整え、2列目運転席側座面の完成です。  
助手席側も一部形状が異なりますが同様に取り付けます。

## 2列目背もたれ



①はじめに、シートベルト用バックルを取り外します。バックルはゴムで固定されていますので、抜き取るように取り外します。



④背もたれを包み込むように、カバーをかぶせます。肩口までしっかり入れ込むようにして下さい。



②運転席側には、中央席用のバックルがあります。中央席用のバックルは背もたれのポケット状になった部分から抜き取ります。



⑤①で外したバックル固定用のゴムをカバーの加工穴から取り出し、外したバックルを元に戻します。



③カバー背面のファスナーを開き、背もたれ中央のシートベルトをかわすようにします。



⑥カバー背面のファスナーを閉じます。勢い良く閉じると、ファスナーが破損する恐れがありますので、左右の生地を内へ寄せながら、慎重に閉じて下さい。

## 2列目背もたれ続き



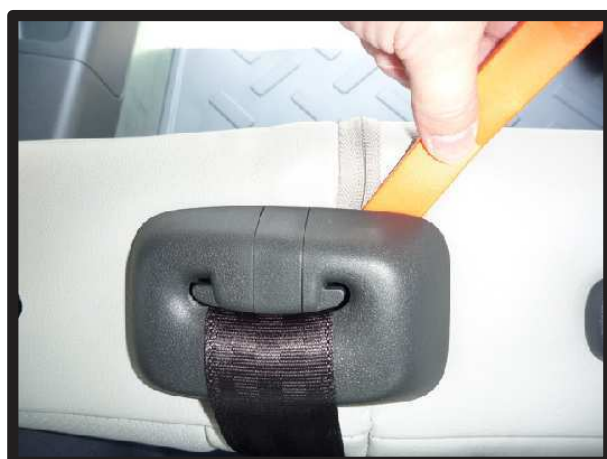
⑦カバー前側の生地を、背もたれの下側へ入れ込みます。



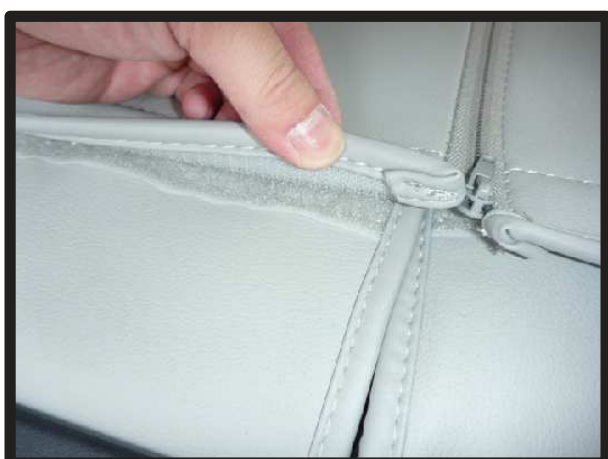
⑩ヘッドレストの台座部と、図のリクライニングスイッチ部を、1列目と同様にカバーの加工穴から取り出します。



⑧入れ込んだ生地を、背もたれ後ろ側から引き出します。背もたれを前側に倒しながら生地を引き出すと、作業がしやすくなります。



⑪シートベルトの台座部に生地を入れ込みます。ヘラ等を使用すると、作業がしやすくなります。



⑨引き出した生地と、背もたれ背面の生地をマジックテープで固定します。



⑫カバーのラインを整え、2列目運転席側背もたれの完成です。  
8ページ②で外したバックルは、カバーのスリット部に収納します。  
助手席側も一部形状が異なりますが同様に取り付けます。

# アームレスト



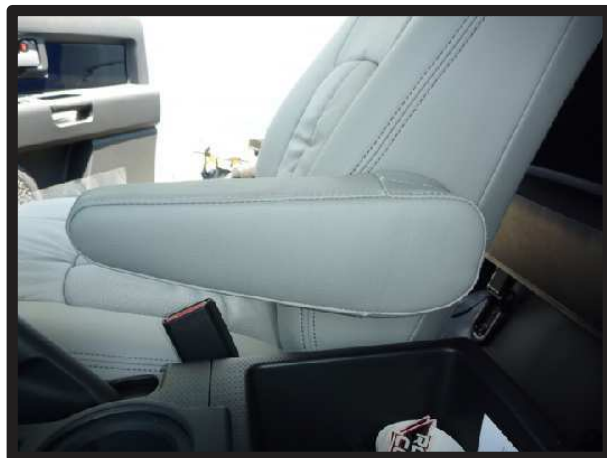
① 4 ページで取り外したアームレストに、カバーを半分ほど裏返した状態でかぶせます。先端までしっかり入れ込んで下さい。



④ カバーのファスナーを閉じます。



② アームレスト全体にカバーをかぶせます。



⑤ カバーのラインを整え、アームレストの完成です。



③ 取り外した逆の手順で、アームレストを元に戻します。

# ヘッドレスト



①カバーの前後を確認してからかぶせます。平らなプラスチック部品が付いている方が前側になります。カバーを半分ほど裏返し、ヘッドレストのラインに合わせてかぶせます。



④プラフックの固定方法は、図のように平らな形状の方を、生地ごと巻き込みながら、カギ状の方に引っ掛けるように固定します。



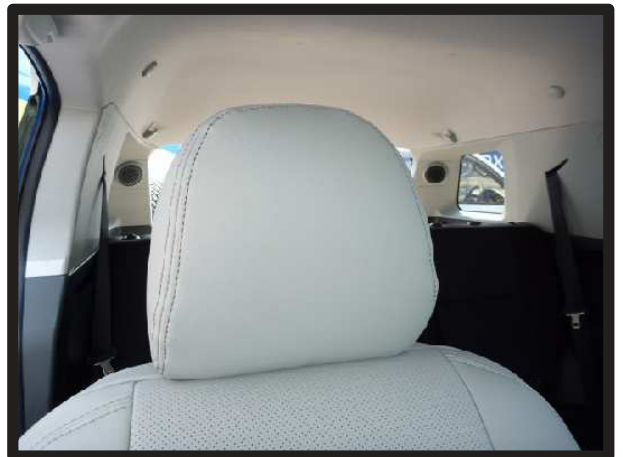
②合わせたラインがずれないように、カバーを下までかぶせます。



⑤プラフックを正しく固定すると、このようになります。



③ヘッドレストを台座から取り外し、カバー下側のプラフックで固定します。



⑥ヘッドレストを台座に戻し、カバーのラインを整え、1列目ヘッドレストの完成です。



## 完成図



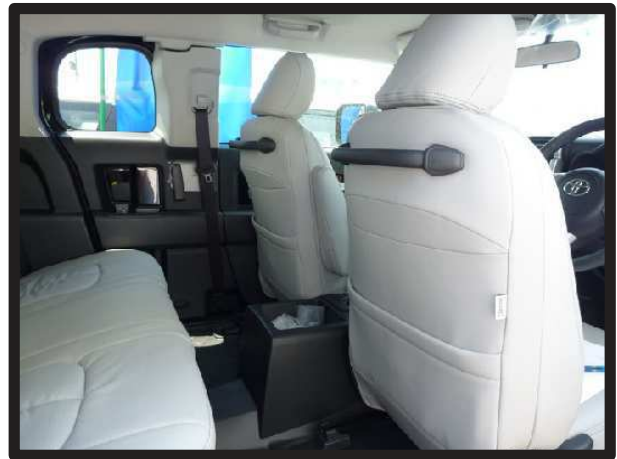
⑦ 2列目ヘッドレストは、カバーを前側からかぶせていきます。



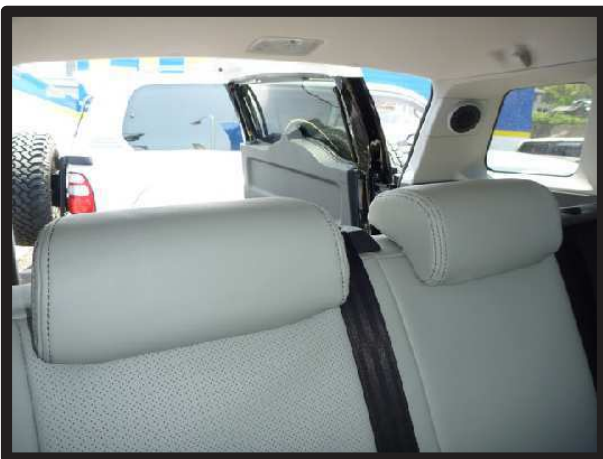
1列目



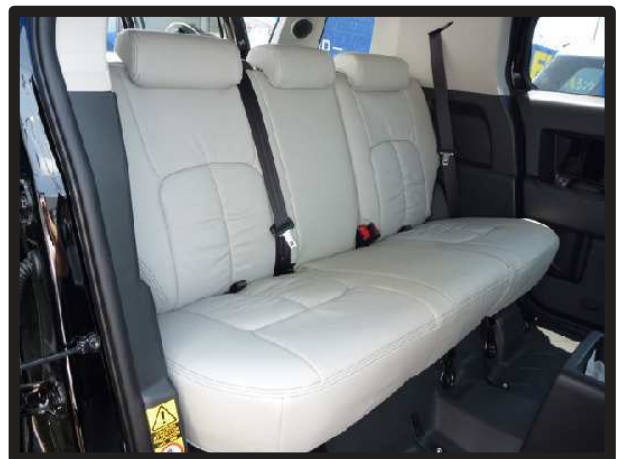
⑧ 1列目と同様にプラフックで固定します。



1列目背面



⑨ カバーのラインを整え、2列目ヘッドレストの完成です。  
2列目中央席ヘッドレストも同様に取り付けます。



2列目

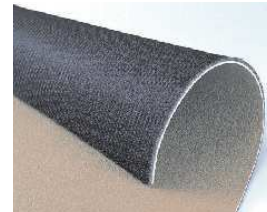


## After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

### ● 1年間保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。  
クラッツィオ キルティングタイプ・プロス クラッツィオ  
プロスクラッツィオ タイプ2は対象外です。
- 2 シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。
- 3 シートカバーと同色のソフトBioPVCレザーの販売をしています。  
(巾135cm・メートル単位での販売となります)  
クラッツィオ キルティングタイプは対象外です。



パーツ交換の際、お客様の製品の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので予めご了承ください。

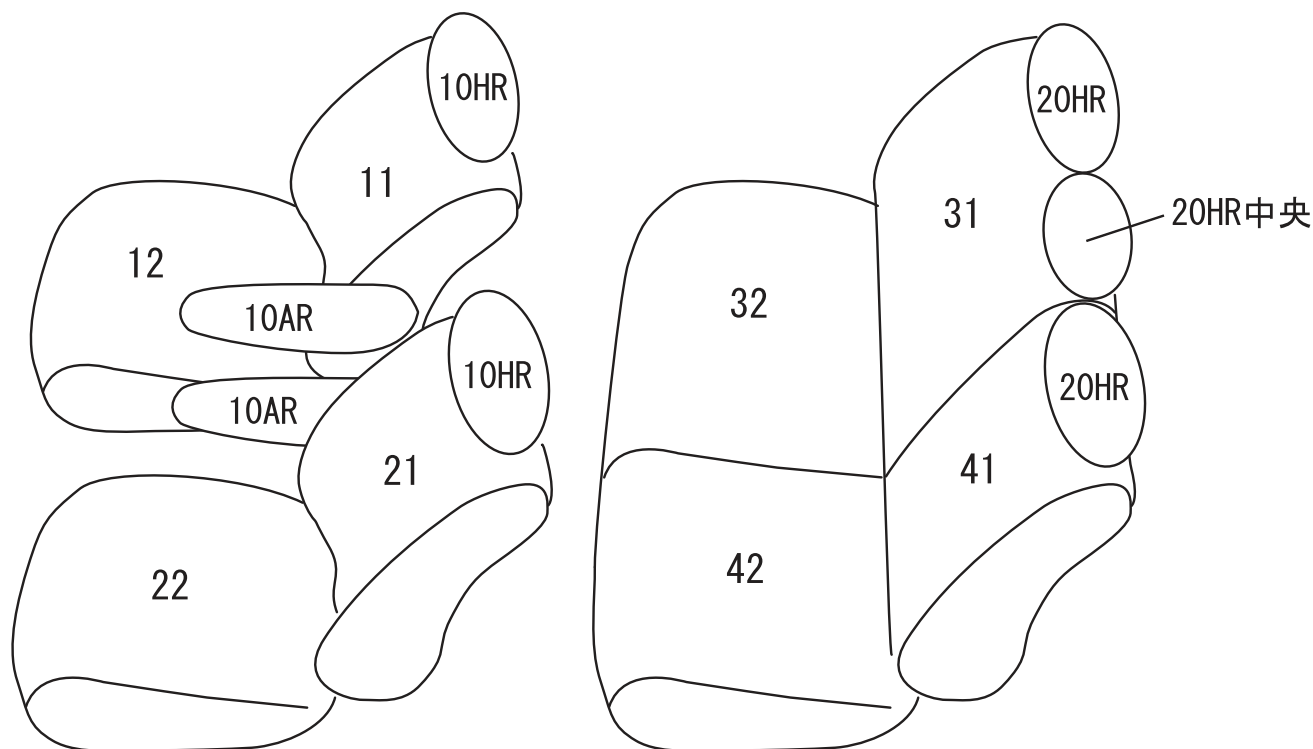
ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

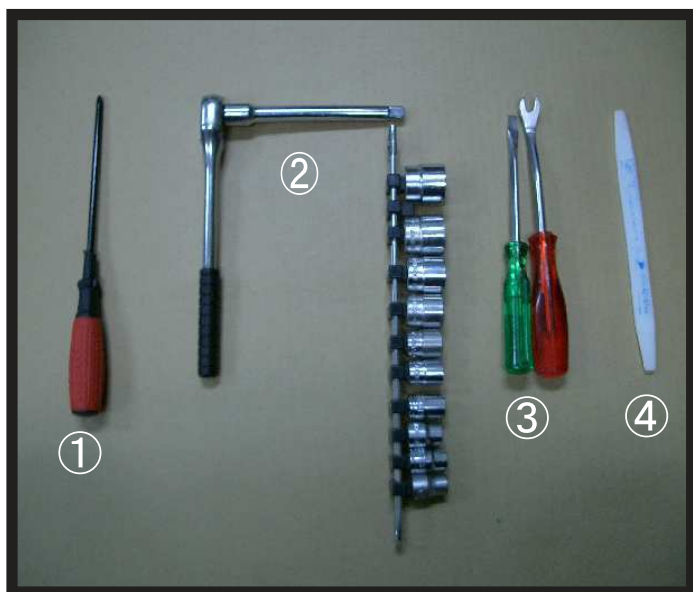
〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

**TEL 072-330-8000**

# 本製品シート形状とパーツの名称



## 取付必要工具



### 工具名

- ① 十ドライバー
  - ② ソケットレンチセット
  - ③ ードライバーまたは内張り外し
  - ④ ヘラ
- ※その他：六角レンチ

※この車種では、②と④の工具と六角レンチを使用します。

※この車種では、①と③の工具は使用しません。

## …→ 生地別メンテナンス方法

### クラッツィオシートカバーを永くお使い頂くための、生地別シートカバーのお手入れ方法

#### アルカンターラ・スエード

##### ● ホコリや毛羽などの付着汚れ

エチケツブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

##### ● 全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯にしみこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケツブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

このお手入れは月一回くらいの頻度で行うと効果的です。



#### 本革パンチング・ECTの本革部分

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。  
または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。  
クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やわらかい布などにつけてから(クリーナーの説明書に従ってください)、また使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。  
万が一変色したり風合いが変わってしまったりした場合、元には戻りません。

##### ⚠️ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができたり変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合にはすぐにふき取り、お手入れを行ってください。長時間放置しておくと汚れやシミが取れなくなってしまいます。表面に積もったほこりは汚れの原因になります。掃除機でこまめに吸い取ってください。



#### PVCLレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。  
それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いたウエス(布)で乾拭きしてください。

